

事務事業名	救急医療情報整備事業		会計	一般会計	実施区分	継続
			事業種別	政策	開始	25 終了
H29作成課等名	長寿支援課	H29係等名	長寿支援係	H28担当課等名	長寿支援課	
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり			
	施策	35	高齢者福祉の推進			
目的	対象(誰・何を)	市内の独居高齢者			指標名及び単位	28年度数値
	意図(どういう状態にするか)	独居高齢者宅に救急医療情報容器を整備する。			独居高齢者数	4015
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らしている高齢者の割合				
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	救急医療情報容器整備世帯数		4000	4000	4000
	定性目標					
事業概要	救急医療情報の保存を必要とする世帯へ情報収納容器を配布し、救急医療に役立てる。 1 市内の独居高齢者に情報収納容器を配布する。 2 かかりつけ医、服用中の薬剤、保険証の写し、親族連絡先等情報を調査する。 3 容器の中に救急医療情報を保管し、冷蔵庫等に保存する。 4 冷蔵庫等保存場所に、情報の所在を示す目印を表示する。 5 救急搬送時や災害時に容器の中の情報を取り出し、医療に役立てる。 6 情報整備後は、内容に変動がある度に、記載内容を更新する。 7 新たに情報保管が必要となった世帯には、容器を配布する。					
28年度事業内容	事業内容			名称	活動指標	
	市内の、新たに独居高齢者となった世帯に、民生委員の協力をお願いし、救急医療情報容器を配布する。			容器配布数	500個	
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①		91	120	73	0	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他						
一般財源		91	120	73		
人件費計(千円)②		715	0	715	0	
正規職員所要時間		200		200		
臨時職員所要時間						
総事業費①+②		806	120	788	0	
事業内容・目標達成状況の振り返り	大半の独居高齢者に救急医療情報キットを配布できた。救急搬送後の対応に役立ち始めている。					
改革改善の考え方	①問題点	救急医療情報等の定期的な更新方法が今後の課題。				
	②改革提案	医師会、広域消防などの救急医療に携わる関係機関から助言等を受け、救急医療情報キットの有効活用を図っていく。				